

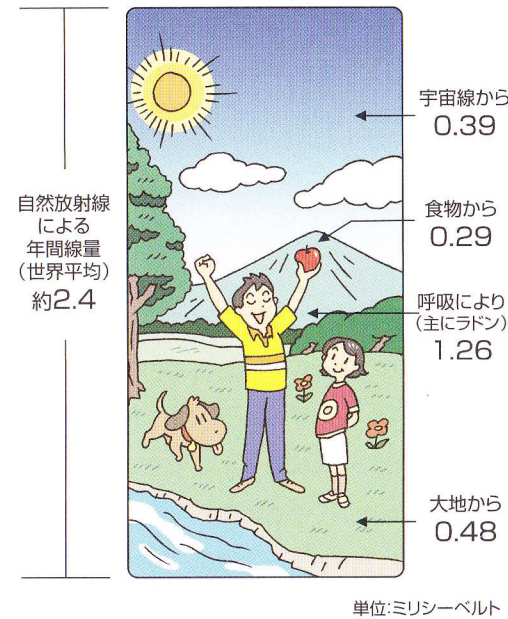
# ?放射線は特別なものなのか。

**私たちは、日常生活で自然環境から常に放射線を受けています。**

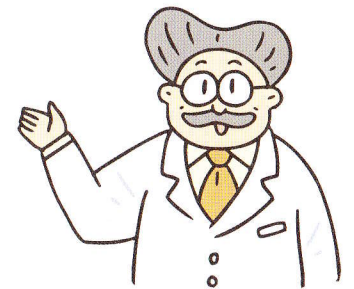
私たちを取りまく自然環境の中には、さまざまな放射性物質が存在しています。土(大地)の中にも、海水の中にも、空気の中にも、そして私たちの体の中にも……。私たちは生まれてからずっと放射線がある環境の中で生活しています。宇宙からは、主に銀河系の中で発生した放射線と、それらの放射線が地球の大気中の物質と衝突したときに発生する放射線の2種類のものが地上にやってきます。また、温泉には、ラドンなどの放射性物質を普通の水よりも多く含んでいるものもありますし、大地の養分で育った農作物にも放射性のカリウムなどが含まれています。大地に含まれる放射性物質の種類や濃度は地域によって差がありますが、私たちは1年間でおよそ2.4ミリシーベルトの放射線を自然環境から受けています。ここで言うシーベルト(→②)とは放射線による人体への影響を表す単位です。

私たちを含め生物を形作るもとである細胞に放射線があたると、細胞の機能が低下したり、大量の放射線にさらされると、場合によっては細胞が機能しなくなることがありますが、私たちは遠い昔から、常に自然からの放射線の中で生活しており、それが健康に影響を及ぼすものではないということは、私たちの経験からも明らかです。このように考えると、放射線は特別なものではなく、その量が少なければ健康に影響を及ぼすものではないと言えます。

## 日常生活と放射線



私たちは常に自然からの放射線の中で生活しており、健康に影響を及ぼすことはありません。



➡詳しくは資料編 ② 「放射能/放射線の単位」(102ページ参照)